

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年1月8日
タイトル	「くわい」を収穫したよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成26年11月27日(木)福山市立新涯小学校5年生138名が、くわい出荷組合の枝廣義春組合長のほ場で福山市の特産物である「くわい」の収穫を見学しました。

見学を始める前、枝廣組合長から挨拶をされ、子ども達から大きな声で「お願いします」と挨拶がありました。事前に枝廣組合長から収穫について聞いているため、すぐにほ場の脇に2列に並んで見学しました。



みんな真剣に聞いています！



大勢で見学です！

水中ポンプで「くわい」を掘る様子を熱心に見ていました。途中何度か、ポンプを宙に向けての水圧を見せてくださいました。まるで消防車のような水圧のポンプを使って掘るので、力のいる作業だなと思いました。

水圧で浮いてきた「くわい」を丁寧に一つ一つすくって、収穫しておられました。

今年は、8月の日照不足で茎や葉の成長が悪かったようですが、「くわい」は一粒が大きく育っていたそうです。しかし、全体の量は例年よりやや少なめになりそうだとお聞きしました。



すごい水の勢いにどよめきが！



水中ポンプで浮かせて、後からすくいます



こんなに沢山収穫です！



大きな「くわい」に思わず笑顔！

新涯小学校に植えられたくわいは、枝廣組合長が来校して、肥料や病気の予防をしてお世話してくださったそうです。

また、子ども達の中から「くわい実行委員」が12名選ばれ、学校に植えた「くわい」は、この半年間、登校して授業が始まる前の時間に水やりを頑張っていたそうです。



泥の中で、こんなに大きく育ってたんですね！

平成26年12月2日(火)新涯小学校の校庭にあるミニ田んぼの「くわい」を収穫しました。

事前に枝廣組合長からお聞きした事や「くわい」収穫を見学したことを参考に収穫されました。

収穫は、午後2時からですが、風が強く大変寒い中で行われました。子ども達は、田んぼに入って収穫する子、茎から「くわい」をもぎ取る子、「くわい」を水道で洗う子、大きさを選別する子、茎などの後片付けの子と役割分担していました。

収穫の係は、裸足でミニ田んぼへ入ります。あまりの冷たさに、悲鳴のような声があがり、すぐに田んぼから出てきてしまいます。

「我こそは」という男の子が何人か挑戦しては、出てきてを繰り返していましたが、そのうちみんな田んぼに入って、茎を引っこ抜いていました。



押すな！押すな！恐る恐る片足を！



うお～！とったぞ～！

引っこ抜かれた「くわい」は、一ヶ所に集められ、茎から「くわい」をもぎ取ります。もぎ取られた「くわい」は水道で洗って、選別していきます。そのうち、全ての茎を抜いたら、手で泥を掘って「くわい」を収穫していました。丁寧に泥を掘って、一粒の「くわい」も無駄にしないという気持ちが伝わってきました。



「くわい」付いてないかな！



「くわい」一粒残さず収穫だ！



「くわい」がいっぱい！

大きさにより、バケツ3杯に選別されましたが、手で掘った「くわい」が半分以上あると思います。バケツを覗くと大きな「くわい」が一杯ありました。

収穫した「くわい」は、1月になって5年生全員で料理して食べる予定だそうです。